



聖ヨゼフ病院 転倒予防プロジェクトチーム
オリジナルキャラクター「あかりん」

転倒予防Project～小さな灯の活動報告～

2025年7月下旬から8月頭にかけて、「転倒予防週間」が実施されました。転倒予防プロジェクトチームによる院内での広報活動に加え、学術集会での発表など、多くの人に転倒予防について知ってもらうための活動が行われました。その活動の様子をご覧ください。

(聖ヨゼフ病院)



聖ヨゼフ病院の転倒予防プロジェクトチームは、2023年4月に正規委員会として発足しました。ほとんどが有志での参加であり、リーダーを事務部長としメンバー14名で活動しています。



講演会

最終日にはヨゼフ病院にて講演会を実施！26名の方に参加いただきました。とても勉強になった、来てよかったなど、うれしい言葉を沢山いただきました。

広報活動

病院内でポスターの掲示や動画投影を行いました。



学会参加

群馬県で開催された日本転倒予防学会第12回学術集会でも発表しました！

聖ヨゼフ病院転倒予防プロジェクトチームの活動

転倒予防プロジェクトチームは、2023年4月正規委員会として発足しました。
このチームは、医師、看護師、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、医事課事務員で構成され、メンバーのほとんどが有志での参加であり、リーダーを事務部長としメンバー14名で活動しています。

メンバーのうち看護師2名、理学療法士2名、管理栄養士1名、医事課事務員1名、計6名が*転倒予防指導士の資格を取得しています。

当プロジェクトチームは、転倒後の症例を検討したり、カンファレンスを行うのではなく、患者自身や家族にも参加していただき、転倒を予防するようなアプローチ方法を考え実践しています。

また、入院患者だけではなく、外来患者やその家族、近隣にお住まいの地域住民へも日常生活における転倒予防を広報する活動もすすめています。

その活動として2023年よりイベントを開催し、従来は患者向けイベントでしたが、今年は、医師会や保健所、商店街、福祉施設と連携を拡大し、地域住民に向けたイベントを行いました。イベントは大盛況で終わることができ、参加された方々より継続を希望される感想をたくさんいただきました。

今年群馬県で開催された日本転倒予防学会第12回学術集会では、テーマが転倒予防の未来を描くー多職種で織りなす地域包括連携ーということもあり、多職種連携の観点から、当院より代表して医事課事務員より発表を行いました。

発表では、当チームが多職種で活動していること、上記イベントの報告を行いました。発表後の質疑応答では、好意的な意見をたくさんいただき、聞き手の方々に当院の活動についてとても関心を持っていただきました。

私たちの転倒予防プロジェクトチームは、病院側から任命されたメンバーではなく有志メンバーであること、それゆえ自由な発想で、あれやろう！これやりたい！こんなのどうか？という自由な発想で柔軟に動けること、そしてそれが病院で認められた正規のチームであることが他職種連携や地域連携に比較的速やかに取り組めたように思います。

電球にてんとう虫が乗っているイラストは、当チームオリジナルキャラクターの『あかりん』です。てんとう虫が乗れるくらいの電球はひとつひとつが小さな灯ですが、たくさん集まれば大きな光となる。という私たちの思いが込められています。

今後は、院内の身体拘束最小化チームとの連携や、地域と連携した活動を継続して行い、ひとつひとつの灯を集め、活動の輪を更に広げていきたいと思えます！

*転倒予防指導士とは一般社団法人日本転倒予防学会の認定資格です